

平成30年3月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 : 平成30年3月28日(金) 9時から11時00分まで
2. 会場 : 臼杵市役所 臼杵庁舎2階 全員協議会室
3. 出席委員 : 教育長 齋藤 克己
教育長職務代理者 垂井 美千代
委員 渡辺 義弘
委員 野上 美智子
委員 神田 岳委

4. 出席職員

教育総務課長	甲斐 尊	学校教育課長	小林 一彦
社会教育課長	斉藤 隆生	文化・文化財課長	川野 徳明
学校給食課長	安東 信二	教育総務課課長代理	荻野 健
学校教育課総括課長代理	口石 愛	文化・文化財課課長代理	日高 昌幸
教育総務課主査	原 絢子	教育総務課主査	米木 淳子
教育総務課主事	姫野 まりな		

5. 傍聴人 木村 公治

【異動のあった職員の報告】

今回の人事異動(内示)で、教育委員会関連の退職者、転出及び転入者について報告いたします。
(課長代理以上)

1. 開会宣言

開会に先立ちまして、本日の出席者の報告を行います。本日の出席者5名、欠席者0名で、出席者が過半数に達しましたので、臼杵市教育委員会会議規則第3条の規定により本会は成立となりました。
それでは、教育長に進行をお願いしたいと思います。

(教育長)

ここで、事前に皆さんにお諮りいたします。本日の委員会について、1名の方から、会議を傍聴したいという申し出があります。許可してもよろしいでしょうか。

(委員 異議なし)

それでは、傍聴を許可するということにいたします。

<傍聴者 入室>

これより臼杵市教育委員会、平成30年3月定例会を開催致します。本日の委員会の会期は本日より

日限りとしたします。次に、会議録署名委員に渡辺委員と垂井委員の2名を指名致します。

今回、次第第3の協議事項、報告第3号の「専決処分の承認を求めることについて」を非公開としたので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき、採決を行います。賛成の委員は挙手をお願いします。多数でありますので、公開しないこととします。

2. 教育長報告

次第2の教育長報告を行います。

(教育長)

3月の行事報告で報告します。3月も本日を含めてあと4日となりました。桜も、もう満開に近づいている。301会議室でやれば見えたのですが、ここからは見えないので残念です。先ほど紹介があったが、3月は異動の時期でもあります。それに加えて卒業、別れ、出会いの月でもある。

3月1日は、私は臼杵高校の卒業式に行きました。卒業生197名、この日、白寿大学と臼杵支援学校の卒業式、それに海洋科学高校の卒業式があり、こちらには、垂井委員に行っていた。2日は、幼児教育推進協議会を開催、今回は第5回となります。最終案の検討ということでしたが、お手元に「臼杵っ子」育ての羅針盤」という冊子を配布しておりますが、最終的にこのような形になりましたので、ご了承願います。3日は、市内中学校の卒業式でした。私は西中に行きました。123名の卒業でした。市内全体で319人の卒業ということで、昨年より、50人程度減っている。委員皆さまには、各中学校に行ってください、ありがとうございました。

5日ですが、定例会としては、今年度、最後の校長会がありました。6日からは、議会の一般質問がありました。お手元に質問の通告書を配布していますが、教育委員会関係では、土谷議員の働き方について、部活等の問題、平成30年度の新たな取り組みということで、8月13・14・15の盆の期間を学校閉庁日とすることについて、出来るだけ先生方に休んでもらおうということで教育長の通達でさせていただいた。スクールサポート事業という国の事業で、国が3分の1県が3分の2で全額助成がある事業であるが、これは、先生方の事務的な作業のサポート臨時職員を配置するというもので、先生方のフォローをしていきたいと思えます。平川議員はご自身のライフワーク的な思い入れがある石橋についての質問をいただきました。具体的には、石橋があまり知られていないことから、出来るだけ周知できるように看板の設置をしていきたいと答弁しました。あと、大戸議員からは、エアコンの整備を早くできないかということで質問いただきました。前回の定例会でも予算の関係で説明させていただきましたが、今年度が設計で、平成30年度は市浜小を整備する予定です。予算の関係で、残りの学校もおおよそ4年間で整備を終えたいと考えています。以上が、教育委員会関係の一般質問です。

それから、8日には、臨時の教育委員会で、異動の内申ということで、審議いただいた。次の週、13日には、亀城学園の卒業式。36名が卒業されました。同日、小中一体教育、土曜ふれあいの協議会ということで、各ブロックごとの取り組み状況、次年度に向けてということで協議を行いました。特に地域との関係で、コミュニティスクールを進めていきたいということをお話させていただきました。

た。それから、14日、公民館の運営審議会で、平成29年度の総括と、来年度の基本方針について審議をいただいた。15日は、放課後こども教室、中学生土曜教室意見交換会がありました。これまでの取り組み状況、次年度の取り組みについて、後ほど報告があると思います。同日、里帰り授業ということで、先般、市長賞詞を受けた児玉芽生さんが西中で思いを伝えていただきました。16日は、市立幼稚園の卒業式でした。私が臼杵幼稚園、垂井委員に野津幼稚園へ行っていただきました。

同日夜には、市執行部、組合、共済会による共同開催となります退職者の合同送別会がありました。教育委員会では、安東園長と学校給食課の伊東真由美さんが退職されました。19日は、臨時校長会で、辞令の内内示ということで、学校ごとの内示をした。内示の前に、新人の対象者に面談を行いました。同日、人材育成連携会議があり、市内中学校の進学状況等について審議しました。A3の配布資料では、県への来年度の要望について審議しました。枠で囲んでいるところが変わったところです。左が29年度、右が30年度の要望である。3つの要望のうちの2番目の海洋科学高校は、1学年80名で要望していましたが、定員割れをしたために、今年は「2学級」として要望しました。

学科を創設してもらおうということを重点に要望していこうということで、要望書をまとめたものです。6月ぐらいに県に要望書を出す予定です。

20日は、臼杵城跡の保存整備委員会があった。昨年の台風で石垣が壊れた箇所があり、作業工法の検討がされた。22日は、管理職の合同送別会が行なわれた。この日に市職員の異動が発表された。23日は、書道コンクールの文部科学大臣賞を野津小の亀山さんが受賞した。26日には、本年度新採用の教職員が1年経過したことから、面談を行なった。小学校4人、中学校2人、養護教諭が3人、それぞれの学校でしっかり育っているようです。

28日は、この教育委員会が終わって、幼児教育連携協定式が行なわれます。平成30年度、下ノ江小から臼杵小に異動になった渡辺美穂教諭が、同校に在籍しながら、幼児教育派遣研修で、臼杵幼稚園、カトリック幼稚園、下南保育所、中央保育所との連携を図っていきます。「臼杵っ子」育ての羅針盤」の幼児教育の基本方針を作ったので、これに沿って具体的な取組みを進めていければと思いますが、県の方も来て、その顔合わせにもなるとと思いますが、その協定式となります。3時から、臼杵っ子ガイドと学芸員の認定式を歴史資料館で行ないます。4月28日にガイドがデビュー、学芸員は、5月27日にデビューする予定になっています。4月1日が休日にあたるため、30日に辞令交付を行ないます。

ご質問等ありましたら、よろしくお願ひします。

3. 議事

(教育長)

それでは、3の協議事項に入ります。報告第3号に入る前に、傍聴者の退室をお願いします。

<傍聴者 退室>

<傍聴者 入室>

(教育長)

それでは、報告第4号、「専決処分の承認を求めることについて」説明を学校給食課長、お願いします。

(学校給食課長)

議案2ページをご覧ください。本件は、3月臨時教育委員会で説明させていただきました。3月14日に専決処分にさせていただきましたので、報告いたします。

(教育長)

説明が終わりました。この件については、臨時教育委員会の時に説明させていただきましたが、質疑等がありましたらお願いします。

<委員承認>

(教育長)

報告第4号については、承認してよろしいでしょうか。

<委員承認>

(教育長)

それでは、第10号議案「平成30年度臼杵市学校教育指導方針を定めることについて」、説明を学校教育課からお願いします。

(学校教育課長)

「平成30年度臼杵市学校教育指導方針を定めることについて」、教育長に対する事務委任規則第2条の規定に基づき議決を求めるものです。この議案は、4月4日の臨時教育委員会の時に案を配布いたしました。その中で、委員の皆さまから、具体的な行動計画や取組みが、記載が多く、臼杵市全体の方針が示されていないこと、個別の学校方針となっていること、各種研修等で招聘する講師や学校が限定され過ぎているといったご指摘をいただいたため、追加修正し、臼杵市全体のあるべき姿やめざす姿を記載し、再提案とさせていただきました。冊子の目次の次のページに、全体像をまとめています。1ページ目には、臼杵市の基本方針の概要、臼杵市の教育のベースとなる3つの教育、下の段に小中一体教育の発展と進化について述べています。3ページ目からは、重点的な方針について述べています。まず、組織力の向上、4ページ目には、学力向上・体力の向上・健康増進、臼杵っこ輝きプロジェクト、5、6ページには、協育ネットワークを活かした地域とともにある学校づくり、特別活動、7番目が、生徒指導、8番目がキャリア教育、9番目に人権・同和教育、最後に小中学校の適正規模・適性配置について載せています。

7ページは、3つのきょう育の基幹として、芯の通った学校組織に基づく「チーム学校」の推進について載せている。再提案の冊子を一読していただき、追加修正等があれば学校教育課まで知らせていただきたい。

(教育長)

方針を定めることについてということで提案をさせていただきましたが、臨時会の時に提案した事項と随分変わっていますので、再度審議させていただきます。議案として提案していますが、修正等ある可能性がありますので。再度ご覧いただき、次回の定例会で審議をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(垂井委員)

表紙のタイトルに「指導方針」として、「指導」という文言が入るのではないのでしょうか。

(野上委員)

表記号の使い方がどうもしっくりこない。波「～」は、何々から何々までというように長さや期間を表すものであると思います。表紙などのデザインとして使うのはいいんですが、公式文書として使う時に、このようにたくさん使っているのかと思います。それと、括弧がやたらに多いこと、点々括弧やかぎ括弧、二重括弧など、これは名称だから二重括弧にするとか、公文書の決まりがあると思います。公文書にあまり「～」は出てこないと思います。

(教育長)

行政上、こういった方針とか結構括弧を使ったりします。条例などは使いませんが、法規と違いますので、もう一度調べて次回報告します。その他、何かありましたら。

(垂井委員)

修正については、いつまで伝えればよいですか。

(学校教育課長)

4月10日までをお願いしたいと思います。

(教育長)

それでは、よろしいでしょうか。

<委員承認>

(教育長)

それでは、本議案は、次回審議といたします。

次に、第11号議案「平成30年度臼杵市社会教育基本方針を定めることについて」、説明を社会教育課からお願いします。

(社会教育課長)

臼杵市教育長に対する事務委任規則第1条第1号の規定に基づき、議決をお願いするものです。資料の3ページ目、平成30年度の教育委員会の方針にもありました「深める」というキーワードがあ

る。まずは、協育コーディネータを活用した「協育ネットワークの深化」を掲げています。家庭と地域の繋がりを更に深め、家庭教育を支援する、地域教育力の向上を社会教育課の第1弾として掲げたいと思います。4ページ目、家庭地域の繋がりを深める、2つ目が、学校・コミュニティスクールと連携した地域での子育ての支援、3点目が1人1スポーツの推進である。個別の重点項目については、先ほどの協育コーディネータを活用した「協育ネットワークの深化」地域力を活かした「臼杵っ子」の育成と「親育て」3年、更に継続していくことが必要と思います。4点目、社会体育の充実、競技スポーツを通じた人材育成を掲げています。6ページ目の公民館の方針ですが、社会教育、生涯学習の環境整備を引き続き行いたい。市民が輝き続ける自分づくり、生き甲斐づくりに適した公民館教室の開催を進めます。最後に8ページの読書のまちづくりです。引き続き、読書のまちづくり計画に基づき、読書が好きな子どもの育成のための環境整備に努めていきたい。

(教育長)

説明が終わりました。この件について、質疑等がありましたらお願いします。

(渡辺委員)

学校教育指導方針に出てくる協育コーディネータと同じものと考えてよいのでしょうか。

(社会教育課長)

一緒です。学校教育課と連携を執るということで、両方の方針に係ってきます。

(渡辺委員)

今年度は、ブロックごとにコーディネータを配置するという方針を出して、東西南北と野津で5人。

(社会教育課)

ブロックで考えると5人になります。あとは、協育コーディネータとしては、家庭教育で1名、読書・まちづくりで1名、野津地域の家庭教育で1名、協育コーディネータは、計8名になります。

(渡辺委員)

学校教育課として5名を今年は配置をするということでよいか。

(教育長)

学校教育課というように捉われずに、社会教育課の中に配置はしているが、一緒に活用していこうということです。

(渡辺委員)

分かりました。

(教育長)

それでは、第11号議案については、承認ということでよろしいでしょうか。

<委員承認>

(教育長)

それでは、第12号議案、「臼杵市いじめ防止基本方針を定めることについて」説明をお願いします。

(学校教育課説明)

臼杵市いじめ防止基本方針を定めることについて、臼杵市教育長に対する事務委任規則（平成17年臼杵市教育委員会規則第6号）第1条第1号の規定に基づき、議決を求める。理由 臼杵市いじめ防止基本方針を定める必要があるため提出する。

平成25年に、いじめ防止対策推進法が策定され、12条に地方のいじめ防止基本方針を策定することについて努力義務と規定されています。議会でも、臼杵市は策定していますか、と質問がありました。基本方針は、国や県の方針を参酌してさらなるいじめの防止、いじめの早期発見、対応を総合的かつ実効的に推進するため策定したものです。第1章1ページをご覧ください。そこに、基本的な考え方、国、県とほぼ同じ内容と思いますが、いじめの定義付け、学校や教育委員会の責務という形で基本的な考え方を第1章として載せています。5ページが、第2章です。ここは、臼杵市教委、学校、家庭が実施すべきことを載せています。特に、資料について、小さな事案であっても報告していただきたいということで、いじめの報告書を数種類作りまして、早期に報告する形式の様式1、最終的な報告書が様式2です。また、様式3について、学校が実施した聞き取りの記録用のものです。早期発見、未然防止に向け、学校から細かい報告をしていただきたいということで、資料にも載せました。

第3章ですが、11ページです。第3章は重大事態への対処法を載せました。12ページは、市教委または学校の対応が不十分だと市が判断した場合、市長による再調査ということで、対応について載せています。以上です。

(教育長)

説明が終わりました。いじめの捉え方がまちまちということもある。新聞報道にあるように、学校によっても捉え方が違うこともあります。それを早めに発見して、早めに対応する方針ということで整理しました。具体的には、中をもう少し詰める必要があるのかなと思います。質疑等あればお願いします。

(渡辺委員)

これはどこかに提出したりするのですか。同じ資料の中にフルネームで書いているものとそうでないものがある。例えば、スクールカウンセラーと書いていたり、SCと書いていたり、SSWとか書いてみたり。ごちゃごちゃ混ざっているのです。どこかで統一して、最初に定義を示して、あとは、略字でいいと思います。

(教育長)

その辺は整理したいと思います。

<委員承認>

(教育長)

第14号議案「教育委員会事務局の人事異動について」説明を教育総務課長からお願いします。

(教育総務課長)

教育委員会事務局の人事異動について、臼杵市教育長に対する事務委任規則（平成17年臼杵市教育委員会規則第6号）第1条第6号の規定に基づき議決を求める。平成30年3月31日及び平成30年4月1日付けで人事異動発令を次のように行うということで、異動者名簿に基づいて説明いたします。

退職者について、小林一彦学校教育課長、安東 律子臼杵幼稚園園長、伊東 真由美学校給食課課長代理です。

続いて4月1日付け異動です。齋藤 隆生社会教育課長が、上下水道管理課長へ異動されます。大野直哉西中学校教諭が、学校教育課課長へ、大戸 敏雄福祉課総括課長代理が社会教課課長へ異動、麻生幸誠都市デザイン課課長代理が、教育総務課総括課長代理へ異動・昇格、高田 教一社会教育課課長代理が、社会教育課総括課長代理へ昇格、合澤 純子学校給食課課長代理が、学校給食課総括課長代理へ昇格、渡辺 真弓学校給食課課長代理が、学校給食課総括課長代理へ昇格、荻野 健教育総務課課長代理が、総務課防災危機管理室室長代理へ異動、東 正吾社会教育課課長代理が、上下水道管理課課長代理へ、日高 昌幸文化・文化財課課長代理が、おもてなし観光課国民文化祭・観光戦略室室長代理へ、齋藤 孝弘税務課 主管が、社会教育課課長代理へ昇任、異動です。裏面に、主幹級以下の異動を記載していますが、省略させていただきます。

(教育長)

説明が終わりました。ご質疑等あればお願いします。

それでは、第14号議案については、承認ということでよろしいでしょうか。

<委員承認>

(教育長)

次に4の学力向上に入りたいと思います。まず、「市内中学校の高校進路状況について」説明をお願いします。

(学校教育課長)

進路予定調査票という資料は、目を通しておいてください。過去8年間の市内中学生の進路状況という資料をご覧ください。臼杵高校に、市内から99人の子供たちが進学しています。海洋科学高校には、本年度は少なかったんですが、7名です。津久見高校に86名、三重総合高校に3名、市外の公立普通科に27名、専門科35名、私立が54名、国立高専が4名、その他が5名です。以上です。

(教育長)

説明が終わりました。ご質疑等、ご意見があればお願いします。

<委員 質問意見なし>

それでは、次の「里帰り授業について」説明をお願いします。

(安東指導主事)

今年度3月15日に、中学校におきましてインターハイ、愛媛国体少年女子Aで高校2冠を達成した兒玉芽生さんに講師として授業をしていただきました。顧問の穴井伸也先生にも特別講師という形で、お二人にお話ししていただきました。彼女の気持ちを、子ども達に伝えていただきました。特に印象的だったのが、後半の部分ですが、Q7の、「穴井先生は怖いですか」という質問の際、「初めは見た目が怖かったが、先生と過ごす中で思いが分かって、私は好きです」と生徒の前で言えるというのは、信頼関係が素晴らしいなど、信頼関係があったため素晴らしい結果になったのかなと見せていただきました。Q8の、「最後に後輩へメッセージをお願いします」という所で、穴井先生からも「兒玉は普通の子で、特別なことはない。中学校の君たちも自分のことを決めつけたり、あきらめたりせずに自分を信じて頑張ってもらいたい」という所と、芽生さんが、「きついことから逃げてもいい。いつかは戻らないといけないという気持ちも同時に持ってほしい」ということです。横で見ている、なにより芽生さんの成長を感じられました。以上です。

(教育長)

質疑等あればお願いします。

<委員 質問意見なし>

(教育長)

それでは、学力向上について、ご意見があればお願いします。

<委員 意見なし>

(教育長)

それでは、次の5の「教育予算」についてですが、ご意見があればお願いします。

(垂井委員)

昨日でしたか、英検受験に補助するという記事がありましたが、臼杵市は先取りで実施していることに、誇らしく思いました。地方でお金があるわけではないのに、子どもたちを温かく支えていくということは、教育環境が素敵だなあと思いました。

(教育長) その他、よろしいでしょうか。

<委員 意見なし>

(教育長)

それでは、「その他」について、まず、「図書館での個人貸出履歴の取り扱いについて」説明をお願いします。

(社会教育課長)

1月定例教育委員会で、野上委員から今まで読んだ本がどれだったか、という情報が見られないかとお尋ねがあり、その場合は検討していますとお答えいたしました。その後、図書館の担当と県下の状況等話を詰めたので、今日ご報告いたします。個人情報取り扱いについては、社団法人日本図書館協会というところが貸出業務をコンピュータ導入に伴うところを絡めながら、貸し出し記録は図書返却後は消去しなければならないとしています。この背景には、本を読むことは個人の趣味、趣向の色が濃いという判断に基づいています。県下、他市の多くの図書館で利用履歴を残さないようにしています。近隣の大分市、佐伯市、津久見市、豊後大野市もシステム上履歴を見れない仕組みになっているとの事です。やはり、野上委員がおっしゃられた通り自分が読んだ本に対する対応はある程度必要かなと思ひ、私どもで3点考えました。

1つ目が、希望者の方にはレシートが出ます。これを、個人の台帳に貼って記録を残してもらおうというのが1点。2つ目が、現状のシステムの改良です。この点においては、システム更新費用、個人の手続きの問題があります。最後は、由布市さんがやっている読書通帳です。過去のものでなく、借りるときにするそうです。これも、運用費用が数百万かかるということで、第1案だとすぐできますので、さっそく4月から台帳をご希望の方にお渡ししようと思ひます。

(教育長)

説明が終わりました。ご質疑等、ご意見があればお願いします。

<委員 意見なし>

次に、「臼杵城跡保存整備委員会について」説明をお願いします。

(文化・文化財課長)

3月20日に、臼杵城址保存整備委員会というのが行われました。資料下段の仮想の部分について、周辺の景観を見た時にコンクリートの剥き出しで対応を、ということで基板づくりをします。周辺が湿気ていて、後々には苔が生えてきて、コンクリートの上に腐蝕していきますので、景観的に見た目がコンクリート剥きだしのままという訳ではないので経費のかからない方法で行きましようかと検討されました。

中段について、台風等で以前より流れ出た石積みが、下から彫り上げた段階で出てくれば、それを含めて右方向から順次積み上げていきたいと思いますという形にしています。

一番上の上段の石垣につきましても、大きめの石になりますが、これも下から出てくれば常時積み上げていきたいと思いますという形にしています。左の部分全部の積石が見つからないと思うので、無い部分について、昔のイメージでなく、現状ないという形の復元で協議をしています。今後、委員会が終わりましたので、これから専門業者による実施設計を行い、事務局側と専門員である高瀬さんと協議をし、実施設計を作り上げて行こうという形で、市としては石工さんを探しておいてほしいということで、土木工事のように簡単には行かないので、石工さんが、一回石垣を取り外して積みなおしますので、作業工程をきちんとできる石工さんを探しています。繰り越し事業となっており、来年度の7月末までの完成を目途としています。できあがることで、周辺の家の方の災害、大雨等に対し危険回避にもつながると思ひますので、進めます。以上です。

(教育長)

場所は、今橋口、車で上がる方です。短い橋を渡って、すぐ左下に民家があるので、また、災害で石垣が落ちないような工法にする必要がありますが、現在の姿を残しながら復旧していく予定です。

(垂井委員)

石工さんを探さなければならないのですね。

(文化・文化財課長)

もう、一応、石工さんの目処は付けています。この他にも、市内には石垣が沢山あるので、若い方へアプローチしていこうと考えています。

(教育長)

工事の時は、通行止めになるのか。

(社会教育課長)

通行止めにはならない。

(教育長)

あそこは、工事しにくいのではないかと思います。以上で終わりですが、何かご意見はないでしょうか。

<委員 意見なし>

それでは、3月定例教育委員会を終わります。

会議録署名委員

会議録署名委員

会議録作成者
